

社長ト直接交渉スヘシトテ午餐ヲ共ニシ引揚ケタリ
今日別誌(四)ノ一俗歌及大又ノ師屋一と葬ルト題スル印刷物
ヲ附近各戸ニ配布セリ
四警署取締

退職社員復讐負カ去林四日迄一時三十分頃会社ニ於テ重役ト
会見中三階廊下ニ於テ 退職社員井筒清次 河内山文雄ノ兩
名ハ在社員大西宗次ト口論シ大西ニ對シ全治一週間ヲ要スル
打撲傷過傷ヲ加ヘタルエヨリ前説井筒、河内山兩名ヲ相手取
リ傷害罪トシテ所轄大崎署ニ告訴セリ

昨昨六日前十時頃皇会社附近ニ既報(六月廿五日労社第一九七
五號ニ付畧ス)日本共産黨東京地方委員会発行ノ報リ更ニ撤
布逃走セルヲ水ヲ犯人捜査中ナリ
各等識困ノ動靜前叙ノ通ニ付引續キ警戒中ナリ
右及中一通ノ報候也

別記(一)

檄

東京、在野、大崎、相、光

全国の同志諸君!

皇軍義勇本部

諸君の熱烈なる檄に由り我々の心は我々の確信を具体化して、ある。心は我々の
何れも、とは果に諸君に檄した通基平的には全支那階級(ノ斗争として、各工場ノ刀工
代の組織等々の極大強化特種的には会社の組織を重んじて信用関係ノ内通内争激
化の各種活動)の動きにより争闘を自身としてこの作戦的確性を得せしめ斯くて諸君
の強力なる支援と在候して我々の政事遂行は歩一歩と強力に展開し奉る!!
全国の同志諸君!

我々の期を斗争は敢てして閉じしめられは措かざらん!皇軍義勇本部は警視
に在りて一佈としての被害は不慮に四五千名を解決任務としたが、三万一千名も
出すの止むべきは無い。然し乍ら若し我々が一時の経済問題の擱置のみを以て
擱置と云ふものは、我々の心には思ひがたである。幸にして我々は此水車諸君の如く
はより、此の思ひと知りしものである。故に我々は解雇を止めたるも内部の組織を疎す
ことを決して忘れざるものがある。そして我々は此の如きことであつた。右は多岐の解雇を
認めざる、とは会社の常態状態を一應整理せざるまで現に業切及急の程度共に今月
迄に及ばず、我々の心は、大に思ひがたである。我々の心は、大に思ひがたである。